



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,903	△10.8	366	△23.4	376	△28.2	246	△35.0
2020年3月期第2四半期	17,834	6.9	477	2.4	524	16.4	378	19.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 331百万円 (2.2%) 2020年3月期第2四半期 324百万円 (△16.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	78.21	—
2020年3月期第2四半期	120.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	10,624	3,208	29.7	1,001.50
2020年3月期	9,497	3,018	31.2	941.57

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,154百万円 2020年3月期 2,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△8.2	600	△11.0	600	△17.2	400	△15.4	126.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	3,150,000株	2020年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	304株	2020年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,149,696株	2020年3月期2Q	3,149,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業業績や個人消費に深刻な影響が生じ、極めて厳しい状況にあります。景気の先行きについては、政府による経済対策や各国の経済活動再開により一部持ち直しの動きがあるものの、感染再拡大の懸念もあり、依然として楽観視できない状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大により人や物の移動が減少し、消費動向が激変していることから、withコロナ時代を見据えた経営が求められており、厳しい状況が続いております。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。しかしながら、外出自粛要請による消費低下の影響は大きく、主力カテゴリーである食品副原料、農産物加工品、乳及び乳製品の販売数量が前年に比べて減少いたしました。一方で、近年注力している環境ビジネス関連の大型シーリングファンの需要は引き続き高く、コロナ禍においても好調に推移いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,903,978千円（前期比10.8%減）となりました。対面での営業活動及び販売数量の減少により営業経費や物流費等の販売管理費は抑えられたものの、売上総利益の減少分を補填することができなかったこと、加えて、子会社サンオーストにおいて、外食向け等の受注が大幅に減少し52,463千円の営業損失となったことから、営業利益は366,181千円（前期比23.4%減）、経常利益は376,349千円（前期比28.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は246,343千円（前期比35.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、新型コロナウイルスの影響を受けて、外出自粛や在宅勤務等により小型ペットボトルの飲料需要が減少していることや7月の記録的な長雨や局地的な豪雨などの天候不順の影響を受けていることから厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。大型シーリングファンは、倉庫設備の換気効果があることや労働環境の改善が図れることから、コロナ禍においてもニーズが高く、前年同期に比べ大幅に伸長しております。一方、直近の飲料製品の販売数量は緩やかな回復傾向にあるものの、本格的な回復にはほど遠く、食品副原料や茶類などの農産物加工品や殺菌乳の販売数量が前年同期を下回る実績推移となったことから、売上高は15,886,510千円（前期比10.8%減）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、主な得意先である外食チェーン店の臨時休業や営業短縮により業務用パルクアイスの受注減少に加えて、大手レジャーランド施設の営業自粛や客数制限によりPB商品の受注が前期に比べ大幅に減少いたしました。以上の結果、製造販売事業の売上高は220,527千円（前期比43.7%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ971,928千円増加し、9,171,920千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ155,231千円増加し、1,452,481千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,127,160千円増加し、10,624,402千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ587,448千円増加し、5,583,052千円となりました。主な要因は、買掛金、未払金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ349,990千円増加し、1,833,222千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ937,439千円増加し、7,416,274千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ189,720千円増加し、3,208,127千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月11日に発表いたしました数値と変更ありません。

当第2四半期連結累計期間の売上高及び利益は前年に比べ減少しておりますが、当期の予算計画は新型コロナウイルス感染拡大にともなう外出自粛による消費低迷の影響を相応に加味して策定しております。しかしながら、今後も当該感染拡大の影響が長期化し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,681	1,482,931
受取手形及び売掛金	4,407,879	5,138,688
商品及び製品	1,791,801	1,900,337
未着商品	465,426	394,405
原材料及び貯蔵品	33,985	28,486
未収入金	72,578	127,437
その他	47,439	104,933
貸倒引当金	△4,800	△5,300
流動資産合計	8,199,992	9,171,920
固定資産		
有形固定資産	430,573	430,733
無形固定資産	6,647	5,293
投資その他の資産	860,028	1,016,454
固定資産合計	1,297,249	1,452,481
資産合計	9,497,242	10,624,402
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,717,006	4,240,657
1年内返済予定の長期借入金	815,988	891,446
未払金	154,530	167,556
未払法人税等	162,492	146,076
賞与引当金	42,407	48,057
その他	103,178	89,259
流動負債合計	4,995,604	5,583,052
固定負債		
長期借入金	1,419,897	1,726,416
資産除去債務	1,695	1,709
その他	61,639	105,096
固定負債合計	1,483,231	1,833,222
負債合計	6,478,835	7,416,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,073,348	2,177,955
自己株式	△259	△259
株主資本合計	2,728,951	2,833,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,679	301,693
繰延ヘッジ損益	1,568	253
為替換算調整勘定	25,459	18,902
その他の包括利益累計額合計	236,708	320,849
非支配株主持分	52,747	53,718
純資産合計	3,018,406	3,208,127
負債純資産合計	9,497,242	10,624,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	17,834,181	15,903,978
売上原価	16,178,780	14,484,483
売上総利益	1,655,400	1,419,495
販売費及び一般管理費	1,177,413	1,053,314
営業利益	477,987	366,181
営業外収益		
受取利息	466	76
受取配当金	4,084	4,243
受取手数料	3,222	3,163
為替差益	35,336	—
受取補償金	753	1,120
補助金収入	7,043	14,438
その他	1,356	1,777
営業外収益合計	52,260	24,820
営業外費用		
支払利息	4,432	4,542
為替差損	—	9,330
支払補償費	1,315	779
その他	95	0
営業外費用合計	5,843	14,652
経常利益	524,404	376,349
特別利益		
固定資産売却益	7,651	—
特別利益合計	7,651	—
税金等調整前四半期純利益	532,056	376,349
法人税、住民税及び事業税	163,464	140,311
法人税等調整額	△9,076	△12,819
法人税等合計	154,388	127,491
四半期純利益	377,667	248,857
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,177	2,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	378,844	246,343

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	377,667	248,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,143	92,014
繰延ヘッジ損益	68	△1,315
為替換算調整勘定	△12,147	△8,099
その他の包括利益合計	△53,222	82,599
四半期包括利益	324,444	331,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,116	330,485
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,672	971

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532,056	376,349
減価償却費	29,171	23,330
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,206	5,649
受取利息及び受取配当金	△4,550	△4,320
支払利息	4,432	4,542
為替差損益 (△は益)	4,096	3,249
固定資産売却益	△7,651	—
売上債権の増減額 (△は増加)	39,613	△734,404
たな卸資産の増減額 (△は増加)	205,356	△35,801
未収入金の増減額 (△は増加)	85,921	△54,865
前渡金の増減額 (△は増加)	145,966	△12,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,097,813	526,313
未払金の増減額 (△は減少)	△282,837	14,795
未払消費税等の増減額 (△は減少)	31,277	△17,384
前受金の増減額 (△は減少)	△150,129	3,189
その他	△34,331	△53,148
小計	△496,514	45,566
利息及び配当金の受取額	4,550	4,320
利息の支払額	△4,407	△4,635
法人税等の支払額	△95,522	△148,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	△591,893	△103,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64,996	△22,872
無形固定資産の取得による支出	△1,638	△1,010
差入保証金の差入による支出	△1,722	△4,010
差入保証金の回収による収入	—	465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,358	△27,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	840,000
長期借入金の返済による支出	△404,952	△458,023
リース債務の返済による支出	△8,829	△5,069
配当金の支払額	△126,442	△141,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,223	235,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,927	△7,497
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△811,402	97,249
現金及び現金同等物の期首残高	2,040,402	1,385,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,999	1,482,931

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,706,118	128,062	17,834,181	—	17,834,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106,617	263,380	369,997	△369,997	—
計	17,812,736	391,442	18,204,178	△369,997	17,834,181
セグメント利益	463,760	11,789	475,550	2,436	477,987

(注) 1. セグメント利益の調整額2,436千円は、セグメント間取引消去2,436千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,818,559	85,419	15,903,978	—	15,903,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,951	135,107	203,059	△203,059	—
計	15,886,510	220,527	16,107,037	△203,059	15,903,978
セグメント利益又は 損失(△)	413,884	△52,463	361,420	4,760	366,181

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,760千円は、セグメント間取引消去4,760千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていたコンビニエンスストア小売業について、経営上の管理区分の見直しを行ったことにより、「卸売事業」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。